

日向市社会福祉協議会

# 社協だより

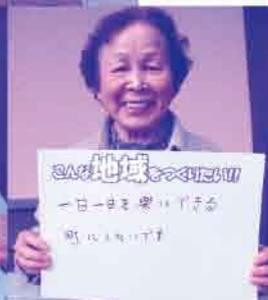
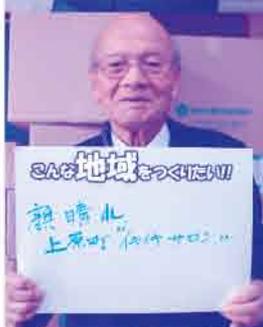
ハートフル

1 月号

2016年



2016 年



## 想いを一つに 想いをカタチに

がつ

# 謹賀新年

あけましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より日向市社会福祉協議会の事業推進に、温かいご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

昨年は、卓越した研究の成果によるノーベル生理学・医学賞及び物理学賞の受賞、東九州自動車道：佐伯～蒲江間の開通など明るいニュースがありました。一方で、豪雨による堤防決壊や、火山噴火による一時避難など私たちの日常生活を脅かす自然災害がありました。

超高齢社会が年を重ねるごとに進展しており、高齢化率の上昇とともに介護費用を含む社会保障費が年々増加してきております。国は、社会保障関係費の伸びを圧縮するため、診療報酬のマイナス改定、介護認定における軽度者といわれる方の地域支援事業への移行など様々な抑制策を打ち出しています。また、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう医療福祉などサービスが一体的に提供できる体制、いわゆる地域包括ケアシステムの構築が推進されています。昨年4月1日に生活困窮者自立支援法が施行され、市から委託を受けている「生活相談・支援センター心（ここ）から」の業務が本格的な実施となりました。生活困窮者対策の任意事業である家計相談支援事業や学習支援事業、居場所サロン事業などは本市においては実施しており、県内他市町村においては、ほとんど実施されてなく大変注目をされています。引き続き、今年も市民福祉の向上を目指して事業を展開してまいります。

また、市から社協が受託し認知症地域支援体制構築等推進事業を実施しています。昨年10月から全国で初めての「認知症にやさしい図書館づくり」事業を開始し、認知症の家族の方などが相談しやすい環境づくりを行いました。社協は、認知症への理解と支援の輪を広げていくため、認知症サポーター養成講座の受講を推進しています。昨年は、日向市役所、日向警察署、日向東白杵郡医師会の看護管理部会、民生委員・児童委員協議会、高齢者福祉部会、小・中・高等学校などで講座を開催し、認知症の方やその家族を見守る認知症サポーターを増やす取組みを行ってまいりました。今後も認知症の方や見守る家族にとって住みやすい環境づくりを進めてまいりたいと考えております。

さらに、少子超高齢社会の進展とともに多くの福祉課題が出てきております。地域で悩みを抱える人たちを地域で支えていくには、各種福祉サービスの利用はもとより家族、地域住民の支え合い、助け合いが必要であります。

社協は、地域と連携しながら地域福祉力の向上に努め、本年も地域福祉推進の中心的役割を担う団体として、役職員が一体となって福祉事業を進めてまいります。皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様方のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。



社会福祉法人日向市社会福祉協議会  
会長 中村恒雄

# 学びの先に… 認知症サポーター養成講座 in財光寺

日向市では、認知症の方本人と、ご家族の支え手となる「認知症サポーター」の養成に力を入れています。今回、財光寺小学校、財光寺南小学校にて、認知症サポーター養成講座を展開したところ、受講した児童生徒の学びや感想に大変感心しました。その一部をご覧ください。

認知症とは、どんな病気なのか？とか、どんな症状が起きるのか？認知症になったら何ができなくなって、どう対応すればよいのか？などいろんなことを考えました。この認知症の話聞いて、私は、「困っている人がいたら、自分から助けて、やさしく接してあげる」と決めました。相手のことを考えて行動すると、自然と身に付き、意識していいなくても進んで（行動）できるので、これからは、目標をもとに、頑張りたいと思います。皆にいただいた「オレンジリング」はずっと大切に持っておきます。

困っているおじいちゃん、おばあちゃんや、何だか心細く、悲しくなってしまうおじいちゃんやおばあちゃんには、はずかしがらず（まず、はずかしいことではないから）、自分から進んで声をかけてあげたり、困っていることをしてあげたりする。

一番不安で心配なのは、認知症の人だから、あせらせず、怒らず、支えてあげるということを心がけてようと思います。

わたしたちの体は、お年寄りの方と違って、健康な体を持っています。その力を利用して、荷物や道案内など、自分たちができることをやりとげます。わたしたちのこの力は、自分の為だけにあるのではなく、お年寄りの方たちのものでもあります。わたしたちを支えてくれている人々たちに、感謝の気持ちを持って、こまった人たちを助け、力になりたいと思います。そしていつかは、財光寺地域のみなさんでこまった方をみつけ、助けたいです。体力、考える力をすべてを活かし、お年寄りの方がたの、わたしたちだけのサポーターとして、未来へつなげるため、自分の力を次のこどもたちなどに、教えて、広めていきます。自分にしかできないことをしたいと思います。



↓ **認知症を**  
知る、学ぶ、気付く、そして…

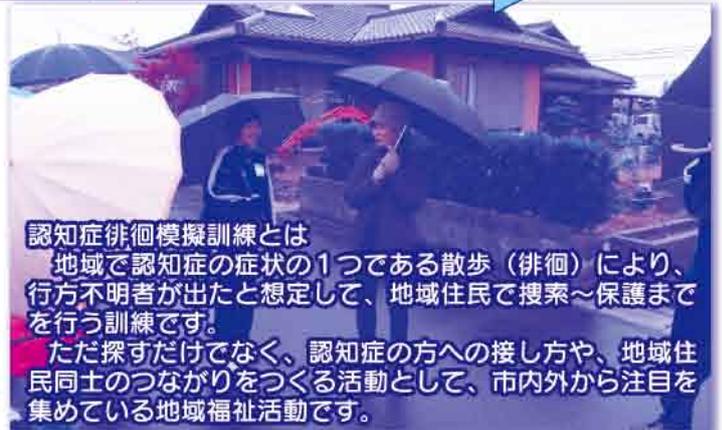


## 学んだからにはとことんやる！ 地域で実践だー！！

認知症についての学びを深めた子どもたちが財光寺地区の地域福祉活動に参加しました！！

平成27年12月6日（日）財光寺地区において「第4回認知症徘徊模擬訓練」が開催されました。雨風冷たい日でしたが、小学生・中学生・高校生が積極的に活動してくれました。

認知症について学んだ子どもたちが、学びの先に見せた“行動”は、会場にいた大人たちを驚かせました。“学んで”、“動いた”子どもたちの学び、ぜひ見てください。



認知症徘徊模擬訓練とは  
地域で認知症の症状の1つである散歩（徘徊）により、行方不明者が出たと想定して、地域住民で捜索～保護までを行う訓練です。  
ただ探すだけでなく、認知症の方への接し方や、地域住民同士のつながりをつくる活動として、市内外から注目を集めている地域福祉活動です。

### ～子ども達の感想を、一部ご紹介します～

会場で発表した子どもたちの言葉をそのまま掲載しています。

[小学5年生]

認知症の人を見つけて警察に通報する時に、居場所とかを報告するのが難しかったけど、認知症の人を見つけれよかったです。



あの人ももしかしたら認知症かなあ…？  
地域で気になる人に声をかける

[中学3年生]

模擬訓練を通して、（徘徊者と思われる人に）とても話しかけづらく、会話するのも難しいのが分かりました。認知症の人は見た目では判断しづらいので、これからは普段からも「少し変だな」と思った行動をする人に積極的に話しかけ、高齢者の住みよい地域づくりをしていきたいです。

[高校2年生]

（徘徊者と思われる人に）話を色々聞くことまで頭が回りませんでした。まだ私たちにはそういう知識が大人の人たちよりなくて、そういう気づき子どもたちにはまだ足りないのだなと実感しました。

“挨拶”から、人との関わりがスタートしていきんだなと、改めて思いました。

どうしても素通りしてしまったり、一人じゃ恥ずかしいから声が掛けられ無いとか、私たちの年代だからこそ、その恥も大人の人たちよりまだあるのかなと感じました。高齢化が進んでる今、自分たちが自分たちの手で、高齢者を支えて上手に関わっていきなと改めて思いました。

# 東郷ふくし学園

「東郷ふくし学園」は、学校と地域と関係機関とが連携し行う、福祉教育プログラムです。今年で2回目を迎えるこの取り組みは、地域の関係機関や、人財を巻き込み、地域ならではの活動を展開しています。

今年、東郷学園6年生を中心として、計3回のプログラムで実施しました。ふくしの正しい理解を基本として、地域を“知る”「地域診断」、地域の福祉施設さんと連携した地域イベントへの協力などを行いました。地域の関係機関や住民を巻き込んだ、新たなふくし教育の展開ができました。

## 学びのプログラムはこれだぁ!

**11月30日 (第1回) ふくしの授業 (東郷学園)**  
(5・6年生) ふくしについて学びました。東郷地区で行われている福祉活動について学びました。

**12月 7日 (第2回) 地域診断 (小野田区)**  
(6年生) 地域の方の困りごとや良いところを聞きました。

**12月12日 (第3回) みんなのマーケット (道の駅ふるさと味工房)**  
(6年生) スマイルホームのお手伝いをしました。区長さんや民生委員さん、まちづくり協議会等たくさんの方に「学び」を発表し、協議を行いました。



特別支援理解集会  
(アイマスク体験)



トメばあさん登場!  
こまっている人がいたらどうする?



ハンドマッサージ講習



ハンドマッサージ気持ちいいね♡



気になることはありますか?  
(地域診断)



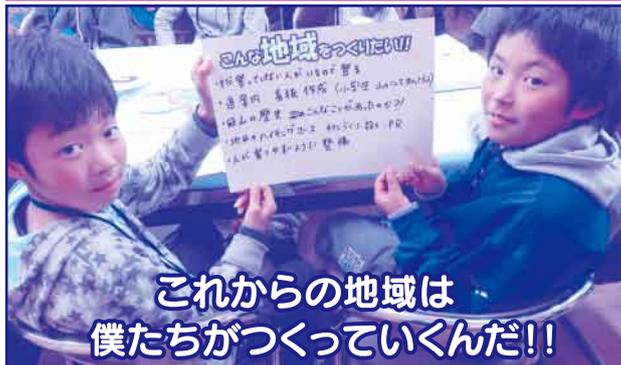
スマイルホームのみなさんと  
一緒に活動をしました!



買い物支援!  
東郷にはこんな取り組みがあるんだぁ!



## “ふくし”をつうじて いろんなこと体験したぞ!!



これからの地域は  
僕たちがつくっていくんだ!!

## 参加者の感想

子どもたちの学びに協力いただいた地域のみなさまからお声をいただきました。

- ・子どもたちが、何をしたらよいかなど考える、とても良い機会だったと思う。地域の人たちとの交流の場で、いろいろな意見を聞くことができた。
- ・自分だけで考えても何もできない。みんなと意見を出し合ってからこそ、行動に移すことができると思う。
- ・子どもたちの発表を聞いて「東郷町を知ろうとしている」気持ちでいることがわかった。
- ・とても良いこと。福祉に関心を持って考えることが、大人になっても必ず残るはずだから、何度も繰り返しふくし教育をすると良いと思う。
- ・子どもたちの考えを、まちづくり協議会が取り入れられたら良いと思います。



この地域の良いところは  
何ですか?



東郷をよりよくするために  
本気で考えます!



こんな東郷になったらいいな!!



子どもだけじゃない  
大人だけでもない  
一緒に地域を考える。

## 学びの先に

今回のふくし教育はあくまできっかけでしかありません。人のために、地域のためにできることを考える。地域住民が相互に支え合い、地域をつくる。そんな感覚を身につけた子どもたちが、地域の中で、地域をつくる一員として自ら考え、動いていけるような学びの場を、これからも地域の皆さまと協力しながらつくり続けていきたいと思ひます。



これまでの学びを活かして  
私たちはこれからの東郷を  
支えていきたい。

# 募っているのは「やさしさ」なんだと思う 赤い羽根共同募金

じぶんの町を良くするのは、誰だろう。じぶんが住んでいるこの町が、少しでも良くなる。それはたぶん、住んでいる人みんなにとって嬉しいことだと思います。

赤い羽根共同募金は、じぶんの住んでいる町をよくするための募金です。

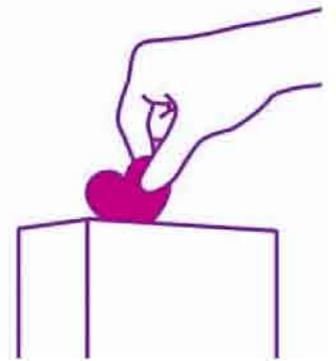
募金期間中、あなたがこの日向市を思って募金くださった「やさしさ」が少しずつ日向市を良くしていきます。



ボーイスカウト街頭募金



日知屋児童センターの  
イオン街頭募金



財光寺小学校児童の学校募金

誰か困っている人のために！住んでいる地域がちょっとでも良くなるように！未来を支える子どもたちが一生懸命に活動してくれました。

子どもにも大人にも素敵な町を残していくために、みなさんのやさしい気持ちを使わせていただきます。募金（やさしさ）ありがとうございました。

## ボランティア・福祉活動情報

今年もやります!!

### 2016日向市福祉のつどい ～で愛ふれ愛たすけ愛!三つの“愛”でつながる福祉!～

地域福祉の充実発展のため、広くボランティアの結集を図り、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが福祉の心をはぐくみ、心豊かで潤いのある新しい福祉のまちづくりに寄与することを目的に「福祉のつどい」を開催いたします。

日時:平成28年2月7日(日) 10:00～14:00

場所:日向市文化交流センター

日向市中央公民館

福祉のつどいのメインとなるバザーコーナー  
下記の要領で、バザー提供物品を募集いたします。  
使わないものなどがありましたら、寄付していただかせんか??

受付期間:2月1日(月)～2月6日(土)

受付時間:午前9時～午後5時

受付場所:日向市文化交流センター 小ホール

※バザー物品には、お取り扱いしていないものもございます。  
詳しくは、各世帯配布の「2016福祉のつどい」チラシをご覧ください!!

[福祉のつどいに関するお問合せ]

2016日向市福祉のつどい実行委員会 事務局  
☎52-2577 担当:五十川裕真、黒木麻砂美

坪谷小学校の子どもたちより寄贈いただきました!!



坪谷小学校の子どもたちが、「気合田(もち米と五色米)」を提供してくださりました。子どもたちが、地域住民のみならずと手間暇かけて、協力して作り上げた、想いのこもったお米です。

ご提供いただいたもち米は、お餅にして、「福祉のつどい」にて、参加者のみなさまに  
**気合いと想いを届けます!!**



想いを込めて作りました!!  
おたのしみ!!

住民による、住民のための、地域福祉活動をご紹介します

# おせっ会通信

今回のおせっ会通信は、第1回目の実施後、日向市内外から多くの反響をいただき、第2回目の実施を終えた「ふくし食堂」のご紹介です。新たなメンバー、協力者を得て臨んだ「第2回ふくし食堂」。その全貌をご覧ください。

## 動いて感動を得た第1回。

## 新たな可能性を感じた第2回。

平成27年11月28日(土)、日向市総合福祉センターにて、「ふくし食堂」を開催しました。

第2回となる今回は、参加者による持ち寄りだけでなく、地域の企業や商店さんにも食材提供のご協力をいただきました。

今回は、集まった食材を使って、寒い冬にピッタリな「鍋」を作りました。

たくさんの協力者からいただいた食材と、みんなの想いを込めて、みんなで作り、みんなで食事し、会場は終始湯気と参加者の笑顔に包まれました。

## ふくし食堂新たな展開は「地域とのつながり」

～食材をご提供いただきました～

イチマル食品加工有限会社 様  
(株)マルイチ 様  
農事組合法人夢・アグリ 様  
(株)みずなが水産 様  
石山青果 様  
中心の里作業所 様  
山崎精肉店 様  
日玉中華食品株式会社 様



今回のふくし食堂で生まれたつながり参加者の想いと、たくさん協力者により活動が展開できました。



坪谷小学校 様  
黒木 百合子 様  
土工 弘行 様  
広瀬 功 様  
三樹 ちほみ 様

ご協力誠に有難うございました。



ふくし食堂の主旨についてみんなで共有。参加者との意識合はふくし活動の基本!!



初めて会う人同士でグループをつくりおしゃべりしながら料理!!



味見、毒味担当!? う～ん、全部おいしい!かも!



たくさんの食材をいただきました。使い切れなかった食材については、福祉施設等に寄付し、ご活用いただきました。



大根を固めるには水分も大切よ!

お～! そうなんだ!

大根おろしアート! 参加者のアイデアでユニークな鍋も登場!?



野菜ちぎりなら任せろ!

参加者全員に役割がある! これもふくし活動のポイントです。



食事の合間に、写真撮影! 異世代の交流もこの活動ならではの!



今回は、スタッフ含めて35名の参加者でした。

### 【参加者の感想】

- ふくし食堂に参加して旅行に行った気分になりました
- いつも主人と向き合ってお飯を食べているので、こんなおしゃべりしながら食べるのは久しぶりです。また誘ってください。
- 初めてお会いした方と、同じ1つの鍋を作ることが、すごく楽しくて、嬉しくて、おいしくて、良い時間を過ごせました。

### 食材提供いただいた企業のスタッフさんにもお越しいただきました!



○最初は、よく主旨がわからなくて来たんですが、参加者皆さんの話を聞いて、すごく良いことをしているなと思いました。(山崎精肉店様)



○最初に聞いたとき、「ふくし食堂」というお食事処があるのかと思いました。良い取り組みだと思います。(石山青果様)

これからの



は…

ふくし食堂はどこでも、誰にでも、何人でも実施できる地域福祉活動です。今後は、春夏秋冬毎の開催や、各地域での展開を目指し、協力者を増やしていきます。ぜひ、私たち「ふくし食堂」スタッフと一緒に、地域福祉活動を広めていきませんか? 連絡お待ちしています!!

ふくし食堂を私の住んでいる地域でやってみたい! ふくし食堂スタッフを体験してみたい! その他ふくし食堂に関するお問い合わせは下記まで! TEL: 52-2577 担当: 関野、五十川

# 児童館・センターだより 1月号



指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

## 行事予定

日知屋児童センター TEL52-8443

1月23日(土)

『ことばのせかい』(小学生・幼児親子)

時間:14:00~15:30

☆読み聞かせボランティア「めにめに」  
の方々に、楽しい夢の世界へ連れて  
行ってもらう!!



1月30日(土)

『オニをやっつけよう!』(小学生)

時間:14:00~15:30

☆きみのなかにすんでいる悪いオニはどんなオニ?!  
みんなで鬼退治だぁ!!豆まきもあるよ!

2月12日(金)、19日(金)

ヨガ教室(幼児親子)

時間:9:30~10:30

※日程が変更になりました。詳しくは2月号でお知らせいたします。

大王谷児童館 TEL50-1117

1月23日(土)

『公園であそぼう!』(小学生)

時間:14:00~15:30

☆子どもは風の子!元気な子!公園に行って、鬼ごっこやサッカーをして思い切り走りまわろう!  
宝探しもあるよ!

1月28日(木)

『豆まき』(幼児親子)

時間:10:30~11:30

☆「げんきで過ごせます様に!」願いを込めてみんなで豆まきをしよう!!

1月30日(土)

『豆まき』(小学生)

時間:14:00~15:30

☆「鬼はそとぉー!福はうちいー!」元気よく世の中の悪いものを追い払おう!!



2月4日(木)

『エンジョイ!子育て』(幼児親子)

時間:10:30~11:30

☆育児についての情報交換の場として  
ゆっくり語り合しましょう!

## 大王谷児童館・日知屋児童センター合同行事!

1月16日(土)「木育活動」(小学生)

☆小枝や小さな切り株で、お人形オブジェを作ります!  
君の自由な発想で作ってね!!

○時間 ①10:00~12:00

②13:30~15:30

(午前と午後2回行きます)

○参加費 無 料



※定員になり次第締め切りますので、事前に各児童館・センターにお申込み下さい!!

## 街頭募金活動をしました!



12月12日(土)、イオン日向店店頭で赤い羽根共同募金の街頭募金活動を行いました。

子どもたちは恥ずかしさと緊張で小さかった声が、募金して下さる方々の暖かい心に励まされ、次第に大きく、自信に満ち溢れていきました。体験しなくては分からない学びや気づき、優しさをたくさんいただくことができました。

集まった募金はきっと、たくさんの人に優しさを届けてくれることでしょう。優しさのリレーが繋がっていきますね!

募金にご協力して下さった方々、本当にありがとうございました!!



## あけましておめでとうございます



12月5日(土)大王谷公民館主催行事「もちつき」に、大王谷児童クラブと富高児童クラブの30名が参加しました!!

可愛いエプロン姿になり杵の持ち方やつき方を習って1, 2, 3...の掛け声に合わせてペタンペタンともちつきを体験しました。時々白い粉を顔に付けながら、小さい手でころころと丸めてお餅の出来上がり!お雑煮もおいしくいただきました。高齢者クラブの方々、お父さん方有難うございました!

今年も子ども達の元気な笑顔がたくさん

見られますように(\*^\_^\*)





「日本文化を  
次の世代につなぐ」



切島山1区 林 トモコさん

林トモコさんは、切島山1区に日本舞踊教室を開いてから17年になります。以来、毎年、日向市文化交流センターでチャリティー発表会を開催し、日向市社協の福祉事業を支援していただいております。小学生から高齢者まで幅広いお弟子さんの指導に情熱を傾けながら、福祉施設の訪問や地区行事の祭りの踊りを指導するなど、福祉事業や地域活動に貢献されています。曲を聴きながら体全体を使って踊る日本舞踊は、脳を活性化し認知症の予防になるとともに少ない負担で効果的な運動ができることから健康づくりにもよいそうです。

日本文化伝承のため、興味のある方や多くの子どもたちに日本舞踊を教え、また、地域の方に踊りを教えながらつながりを持ち、地域福祉の向上に少しでもお役に立ちたいと控えめに話されます。



毎年実施している  
チャリティー発表会

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略 平成27年11月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
松下 昭子	松下 次雄	堀一方
甲斐 良幸	甲斐 岩美	北町2
鍋島 章彦	鍋島 寛	日向台
黒木 ユキミ	黒木 サカエ	比良
益田 トラ子	益田 規臣	堀一方
佐藤 隆則	佐藤 孝一	権現原
奈須 實雄	奈須 シツ	往還
駒田 久美子	駒田 光信	東草場
齋藤 隆尋	齋藤 ツネ子	江良
坂口 和子	坂口 英治	比良

〈一般寄付金〉敬称略 平成27年11月分

氏名・団体名
輝扇流絢之会 輝扇美之智

お詫び

9月号にて掲載した7月分一般寄付金の紹介に未掲載がありました。謹んでお詫びを申し上げますとともに下記のとおりご紹介いたします。

〈一般寄付金〉敬称略 平成27年7月分

氏名・団体名
日向市シルバー人材センター 菜の花会

お知らせ

じんせい寺子屋



これからの自分について考えてみませんか？

将来の進路・進学に迷っているんですが…  
いろんな職業の人の話を聞いてみたい！  
可能性を無限に秘めている

中学生の皆様！

「じんせい寺子屋」は、将来の地域を担う中学生が、夢を持ち、自分の人生に向かって歩いていくために、将来についての相談など、**ちょっとしたお手伝い**をする活動企画です。美容師、建設業、福祉専門職、etc…  
人生の中でいろんな経験をしながら現役で働く人たちと、気軽に話してみませんか？  
気になる「しごと」のワークショップもあります！連絡お待ちしています！

日時：平成28年2月27日(土)午後  
場所：日向市総合福祉センター(社協) 2階集会室  
お問合せ TEL:52-2572 担当:三樹ちほみ、小飼文  
※今回の対象は、中学生のみとなります。

第3回気配り見守り近所ウォーク開催します!!

私たちと一緒に地域を歩いて、みませんか？

参加申込は社協(☎52-2572)まで  
当日飛び入り参加もOKです。



日時：平成28年1月31日(日) 9:00~  
集合場所：海の駅ほそしま ※今回は、細島地区を歩きます。

社協日記

明けましておめでとうございます。

皆様にとって、今年がいい年になることをご祈念申し上げます。宮崎市から東九州高速道路を北上し、日向市に入ると車窓から美々津灯台、金ヶ浜、お倉ヶ浜、日向岬など、日豊海岸国定公園に指定されている美しい風景が次々と目に入ってきます。水平線から昇ってくる朝日は、明るい未来を感じさせます。

高速道路から海を背景にして素晴らしい光景を見ることができるのは、県内にはそうないでしょう。いつまでも残しておきたい風景です。高速道路は、日常生活に必要な医療や福祉などの事業と密接に関係しています。

東日本大震災において、津波を考慮して高台に建設された高速道路は、住民の避難や被災地の復興に緊急避難道路として大きな役割を果たしました。救急患者の搬送、食糧、医薬品、燃料等の救援物資を届ける緊急輸送道路は、命をつなぐ道路として機能しました。

昨年10月、人口減少の抑制と元気で活力ある日向市の実現に向け、「元気な“日向市”未来創造戦略」が策定されました。戦略の中には「あらゆる世代が健康で幸せに暮らせるまちづくり」が記載されています。高速道路から美しい光景が見られる我が日向市が、いつまでも安心して暮らせるまちであるために、市民の皆様が連携して互助・共助の精神を発揮していきたいものです。(ひこぴー)

【発行者】

社会福祉法人  
日向市社会福祉協議会

【日向市ボランティア・市民活動センター】

さいちゃん



ひまたん【日向本所】

〒883-0034 日向市大字富高207-3  
日向市総合福祉センター  
TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>  
Eメールアドレス [hyuga207@eagle.ocn.ne.jp](mailto:hyuga207@eagle.ocn.ne.jp)

【東郷支所】

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2  
日向市東郷地区総合福祉センター  
TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

